

# 伝票袋製造販売 パピルスカンパニー

納品書などを同封して郵送の荷物に貼り付ける伝票袋「デリバリーパック」を製造販売するパピルスカンパニー（神戸市中央区）が、中国にある自社工場を増強している。伝票袋を利用するネット通販の市場拡大により、国内外で需要が急伸。生産量を25%増やし、今後はアジア圏での営業を強化する。

（木水陽子）

## 中国工場を増強

同社は1999年、文房具卸コクヨ神戸の子会社として設立。2002年に完全独立したが、その後、売れ上げが低迷した。危機感を抱いた横山太一社長（47）が新事業として着目したが、デリバリーパックだった。ネット通販の普及で今後需要が高まる上、競合相手も少ないと、04年に参入した。

### 需要急伸で25%増



中国で製造し、販売まで一貫して手がけることで、価格を他社より1割ほど抑えた。商品を輸入する際に国境などで納品書を出し入れしやすいチャック付きや、開封を広く、現在は欧米など世界17カ国で販売する。年間売上高11億円、利益の半分以上を海外が占めるという。国内では業界シェア5割を占める大手メーカーがあり、パピルスは後発組だが、横山社長は「中国やアジアの新興国は、今後も成長余地が大きい。高品質低価格を武器に、海外で勝負したい」と意気込む。

### アジア圏での営業強化へ



デリバリーパックは国内向けに20種類、海外向けは約500種類ある＝神戸市中央区加納町4、パピルスカンパニー本社